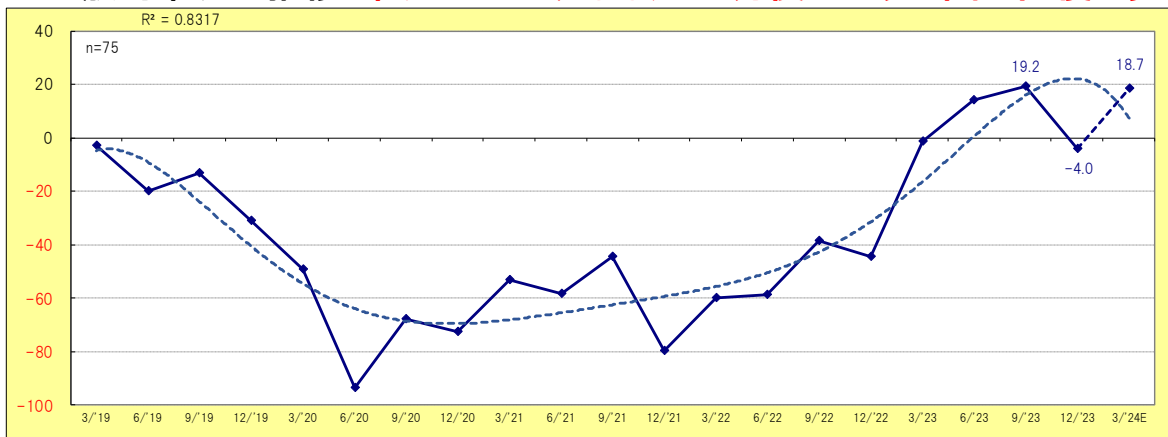


第 95 回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

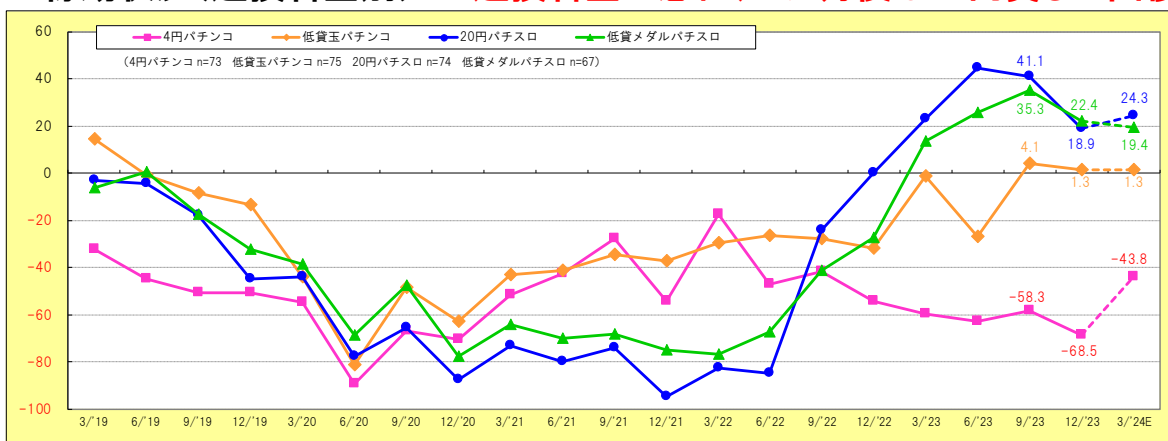
2024 年 1 月

要点

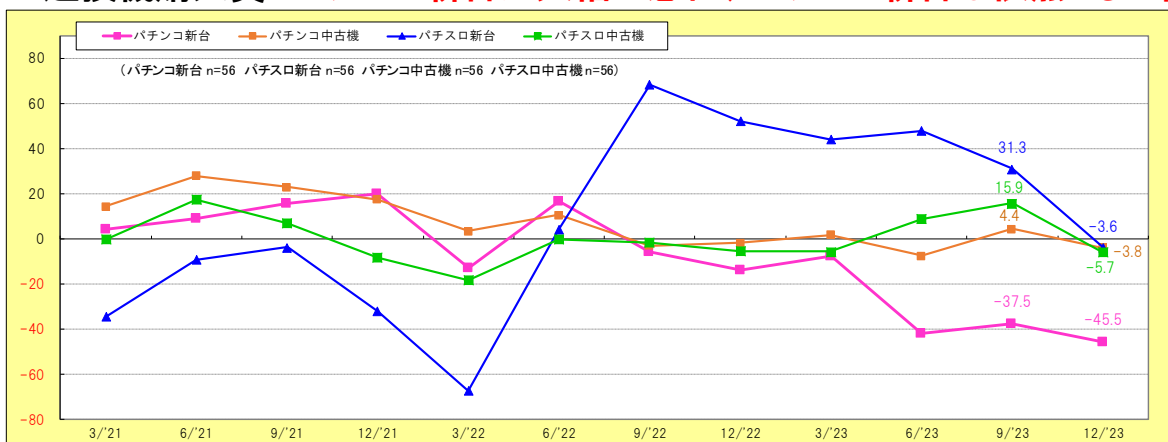
■ 全般的業況の推移: 業況は悪化するも、3 カ月後はプラス圏へ回復の見通し



■ 稼動状況(遊技料金別): 全遊技料金で悪化、3 カ月後は 4 円貸しの回復が顕著



■ 遊技機購入費: パチスロ新台が大幅に悪化、パチンコ新台は依然として低迷



◇ 回答状況

56 企業、75 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

主要指標数値(DI 値)結果

■全般的業況は悪化。パチスロは落ち込むもプラス圏を維持






















「全般的業況」は▲4.0ポイント(前回比23.2悪化)、3カ月後は18.7ポイントまで回復する見通しである。

「稼動状況」はパチンコが▲54.7ポイント(前回比13.6悪化)、3カ月後は▲34.7ポイントまで回復する見通しである。パチスロは24.0ポイント(前回比17.1悪化)、3カ月後は28.0ポイントまでやや回復する見通しである。






「資本投資気運(遊技機)」は8.9ポイント(前回比5.7悪化)、3カ月後は▲19.6ポイントまで落ち込む見通しである。「資本投資気運(その他設備)」は14.3ポイント(前回比4.5悪化)、3カ月後は25.0ポイントまで回復する見通しである。

「不足感(雇用人員)」は▲42.7ポイント(前回比2.5良化)、3カ月後も▲42.7ポイントと現状維持の見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	 19.2	 -4.0	 18.7	現状は曇りに悪化 見通しは薄曇りに良化
2. 稼動状況 (パチンコ)	 -41.1	 -54.7	 -34.7	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
3. 稼動状況 (パチスロ)	 41.1	 24.0	 28.0	現状は薄曇りに悪化 見通しも引き続き薄曇
4. 資本投資気運 (遊技機)	 14.6	 8.9	 -19.6	現状は曇りに悪化 見通しは雨に悪化
5. 資本投資気運 (その他設備)	 18.8	 14.3	 25.0	現状は引き続き薄曇 見通しも引き続き薄曇
6. 充足感 (営業用設備)	 -5.5	 -9.3	 -9.3	現状は引き続き曇り 見通しも引き続き曇り
7. 充足感 (雇用人員)	 -45.2	 -42.7	 -42.7	現状も引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨

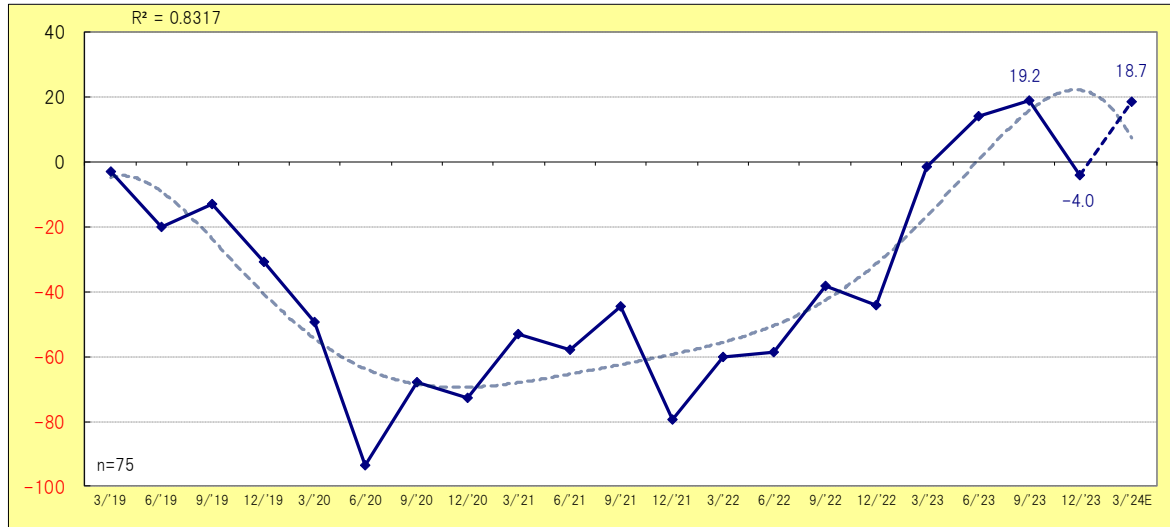
凡例: 天気記号の基準DI値

記号					
DI値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体)

注:2024年3月期(3/'24E)の数値は見通し

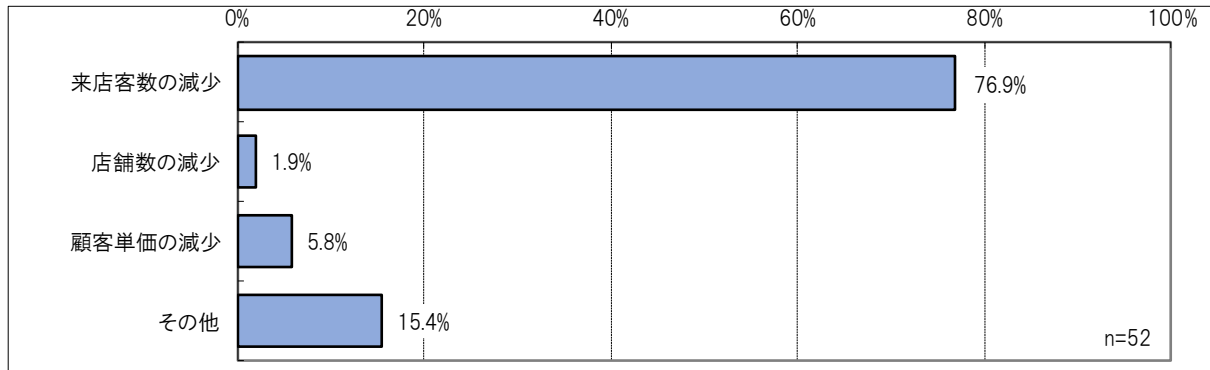
■全般的業況:業況は悪化するも、3カ月後はプラス圏へ回復の見通し



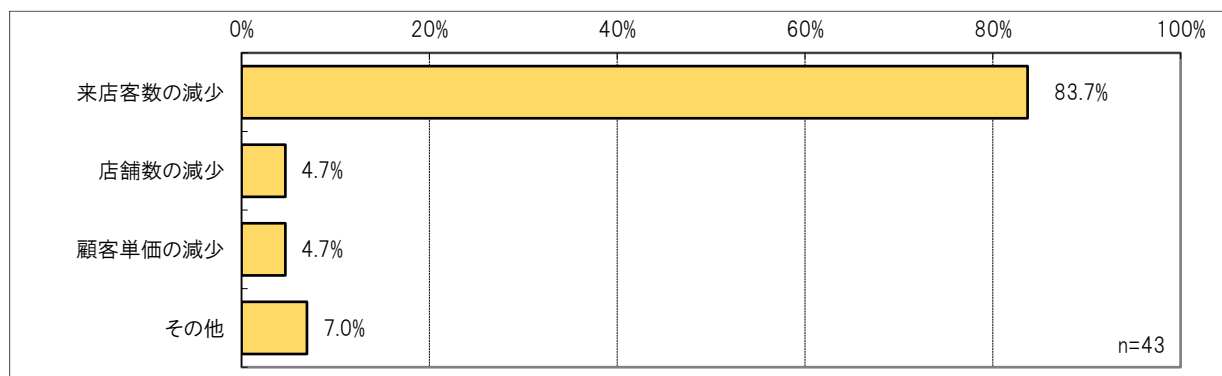
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲4.0ポイント(前回比23.2悪化)まで落ち込んだ。3カ月後は18.7ポイントまで回復する見通しである。

■全般的業況の悪化理由:客数の減少は現況7割台後半、先行き8割台前半

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



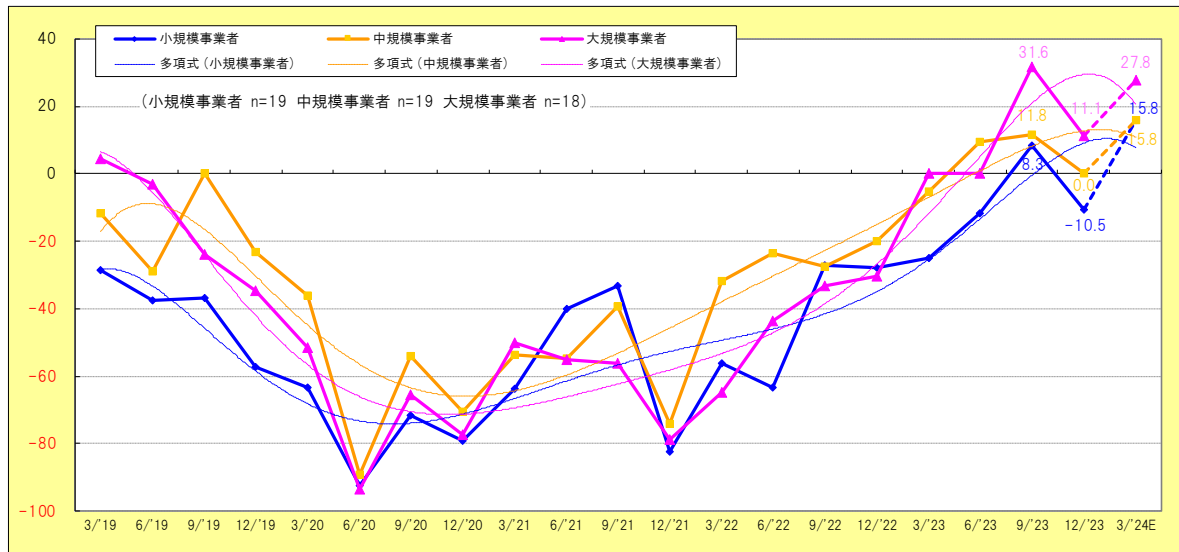
【先行き(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



全般的業況(規模別・地域別)

注:2024年3月期(3/'24E)の数値は見通し

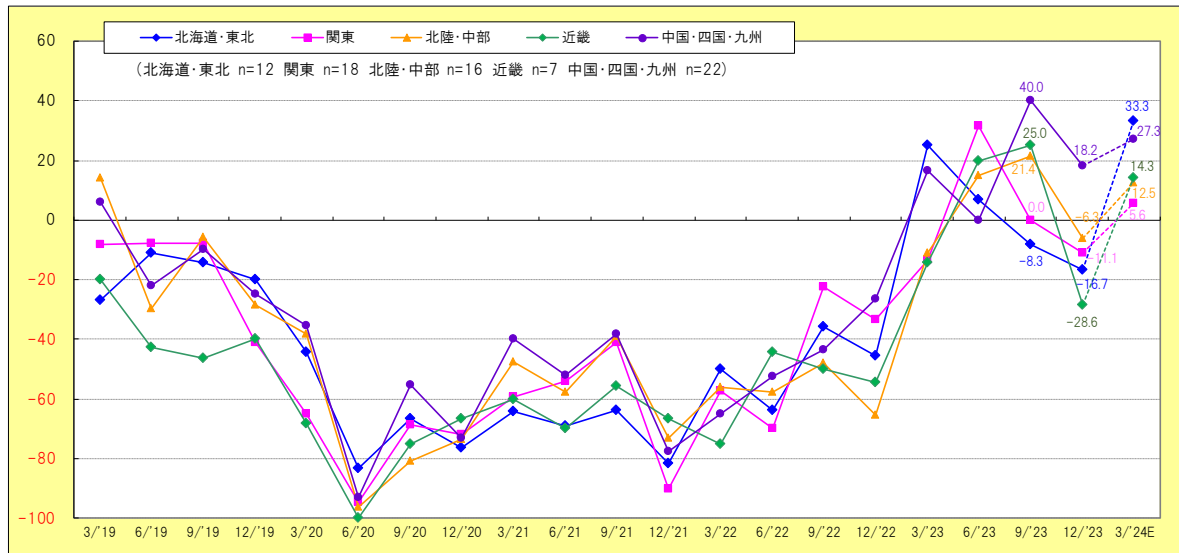
■全般的業況(規模別):全事業者で悪化するも、3カ月後は全事業者で回復の見通し



事業規模別の「全般的業況」は、全事業者で悪化が見られた。小規模事業者(1~3店舗)が▲10.5ポイント(前回比18.8悪化)、中規模事業者(4~10店舗)が±0ポイント(前回比11.8悪化)、大規模事業者(11店舗以上)が11.1ポイント(前回比20.5悪化)となった。

3カ月後は全事業者で一転して回復する見通しである。

■全般的業況(地域別):全地域でマイナスだが、3カ月後は全地域でプラスの見通し



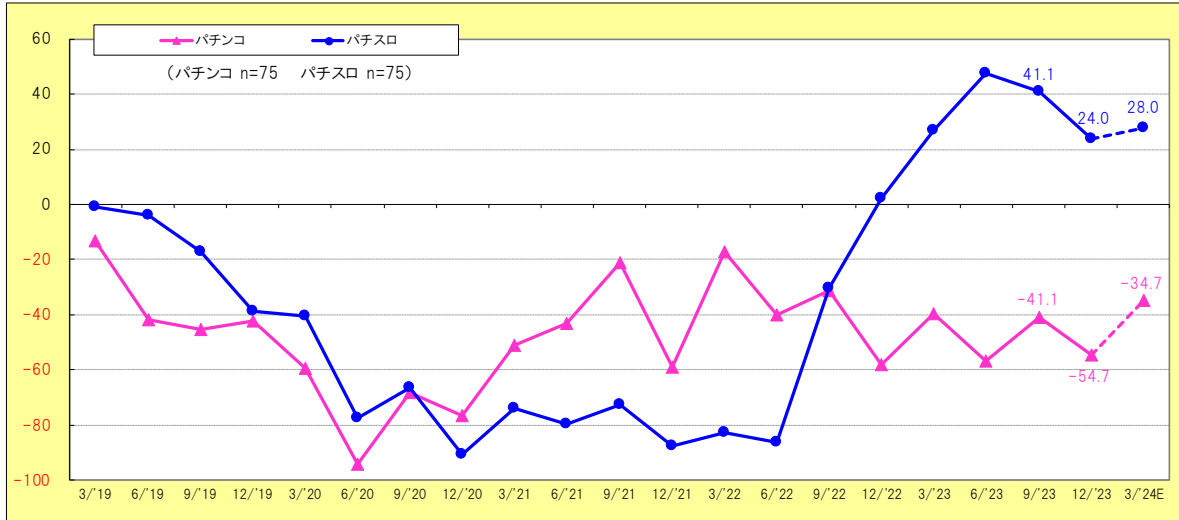
地域別での業況は全地域で落ち込みが見られた。地域順では、中国・四国・九州で18.2ポイント(前回比21.8悪化)、北陸・中部で▲6.3ポイント(前回比27.7悪化)、関東で▲11.1ポイント(前回比11.1悪化)、北海道・東北で▲16.7ポイント(前回比8.4悪化)、近畿で▲28.6ポイント(前回比53.6悪化)となった。

3カ月後の業況は、全地域でプラス圏まで回復する見通しである。

稼動状況(事業者全体)

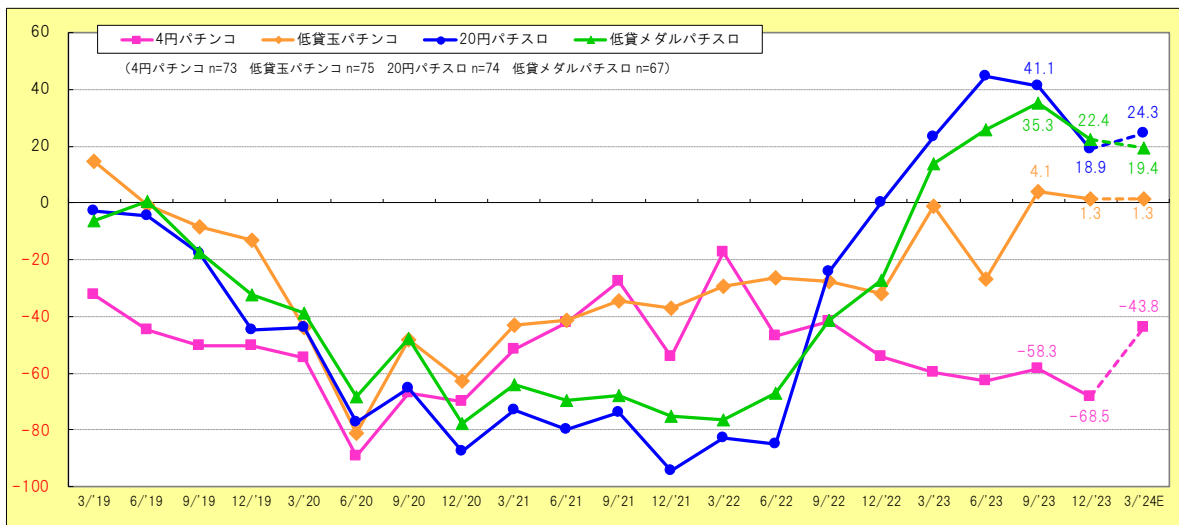
注: 2024年3月期(3/'24E)の数値は見通し

■稼動状況(パチンコ・パチスロ別):パチスロは落ち込むも、プラス圏を維持



稼動状況について、パチンコは▲54.7ポイント(前回比13.6悪化)、3カ月後は▲34.7ポイントまで回復する見通しである。パチスロは24.0ポイント(前回比17.1悪化)、3カ月後は28.0ポイントとプラス圏を維持する見通しである。

■稼動状況(遊技料金別):全遊技料金で悪化、3カ月後は4円貸しの回復が顕著



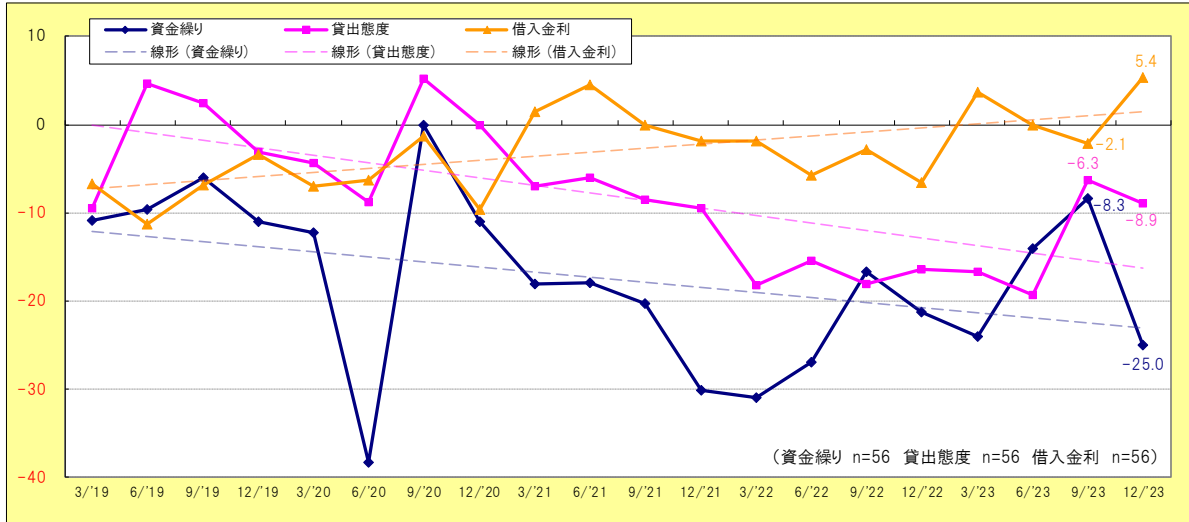
通常貸し遊技料金において、4円パチンコは▲68.5ポイント(前回比10.2悪化)、3カ月後は▲43.8ポイントまで大幅に回復する見通しである。20円パチスロは18.9ポイント(前回比22.2悪化)、3カ月後は24.3ポイントまで回復する見通しである。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは1.3ポイント(前回比2.8悪化)、3カ月後も1.3ポイントと現状維持の見通しである。低貸メダルパチスロは22.4ポイント(前回比12.9悪化)、3カ月後は19.4ポイントまでやや悪化する見通しである。

経営の現状(事業者全体)

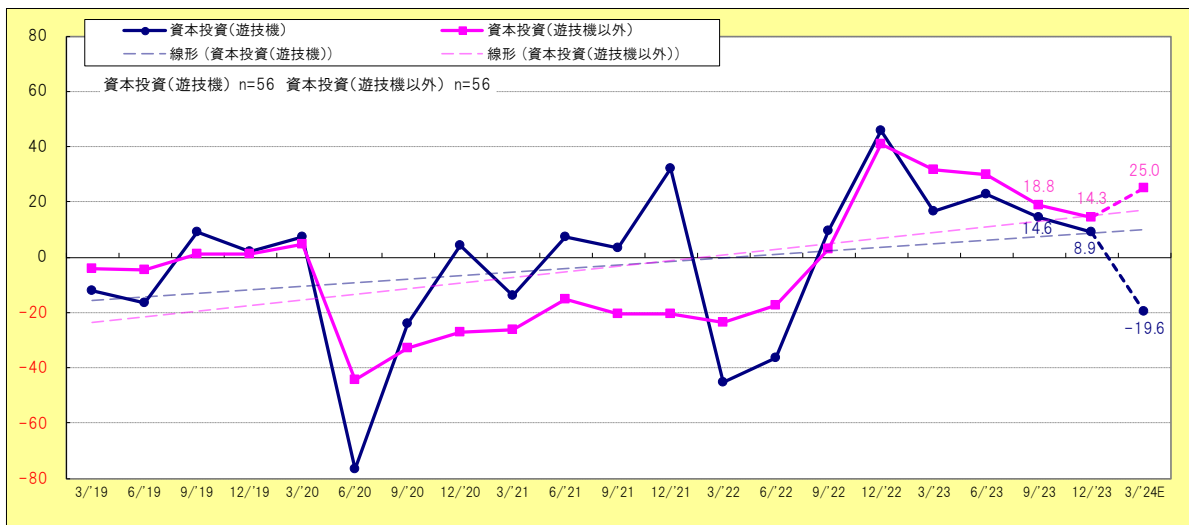
注:2024年3月期(3/'24E)の数値は見通し

■企業金融:資金繰りは悪化、借入金利はプラスに転じる



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲25.0ポイント(前回比16.7悪化)、「貸出態度」▲8.9ポイント(前回比2.6悪化)、「借入金利」5.4ポイント(前回比7.5良化)となった。

■資本投資気運:遊技機は悪化したが、3カ月後はさらに悪化の見通し



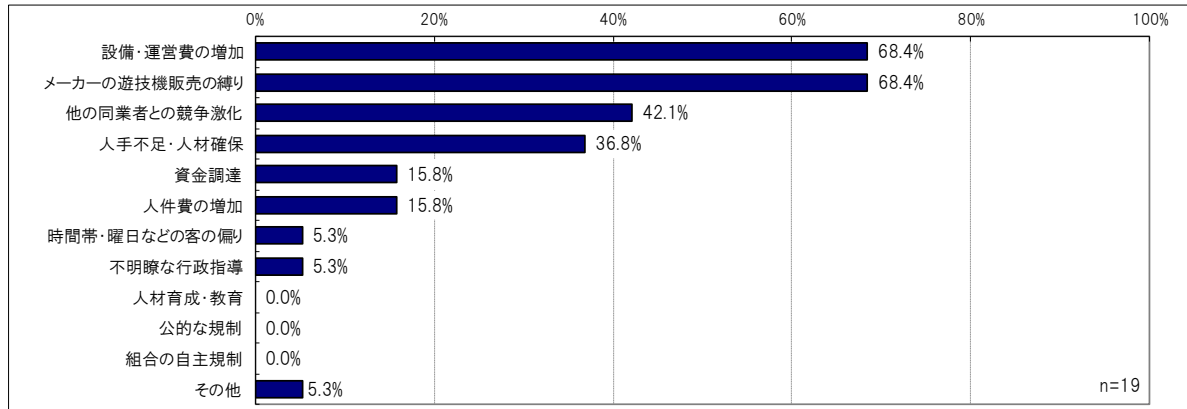
今回の「資本投資気運(遊技機)」は8.9ポイント(前回比5.7悪化)、3カ月後は▲19.6ポイントまでさらに落ち込む見通しである。

一方、「資本投資気運(遊技機以外)」は14.3ポイント(前回比4.5悪化)、3カ月後は25.0ポイントまで回復する見通しである。

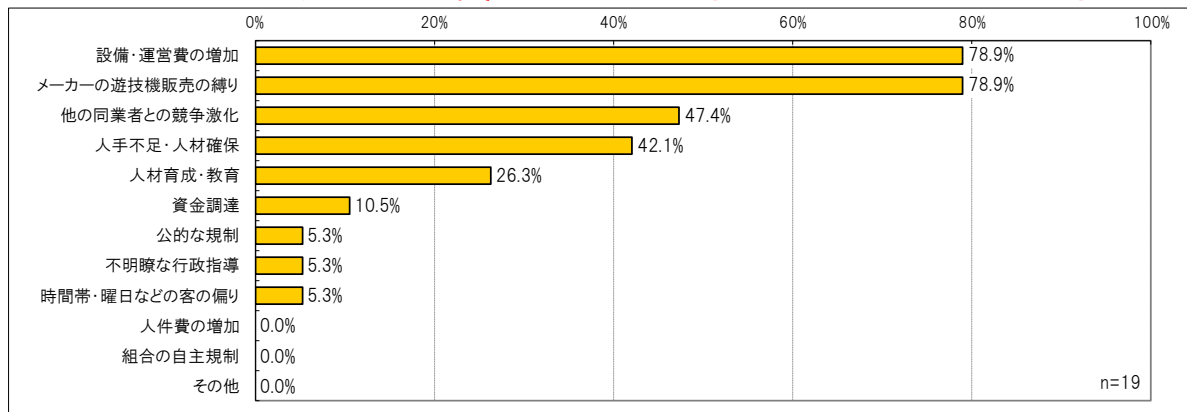
経営上の課題(事業者規模別)

注:複数回答

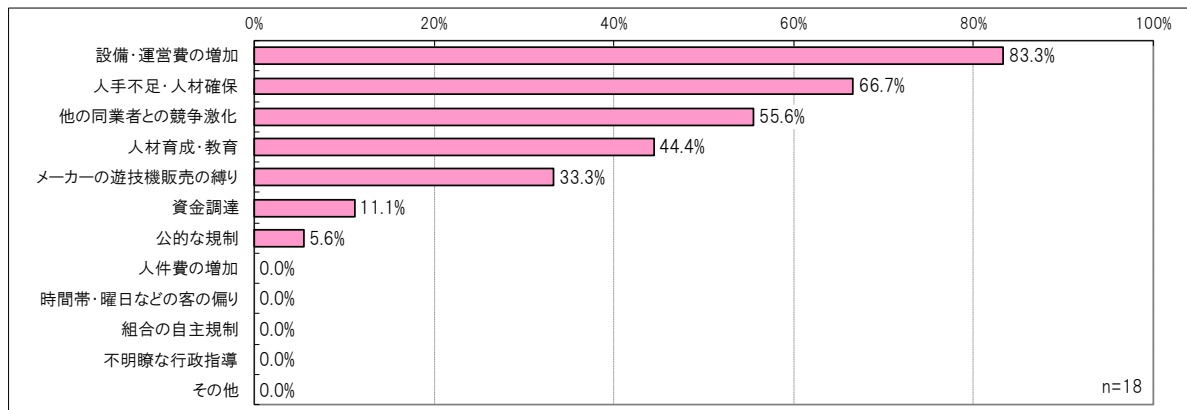
■小規模事業者:設備・運営費の増加と遊技機販売の縛りが同率で最も高い



■中規模事業者:設備・運営費の増加と遊技機販売の縛りが同率で最も高い



■大規模事業者:設備・運営費の増加が8割以上で最も高い



「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3 店舗)は「メーカーの遊技機販売の縛り」と「設備・運営費の増加」が同率で最も高く、7割弱となった。

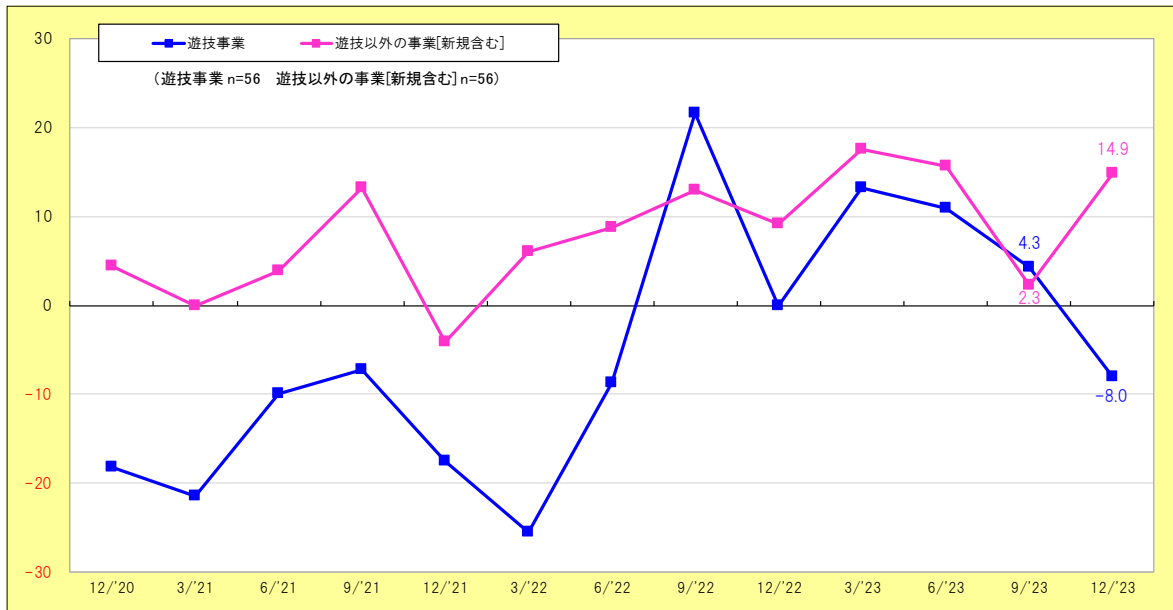
中規模事業者(4~10 店舗)は「メーカーの遊技機販売の縛り」と「設備・運営費の増加」が同率で最も高く、8割弱となった。

大規模事業者(11 店舗以上)と「設備・運営費の増加」が最も高く、8割以上となった。2番目に「人手不足・人材確保」が高かった。

全ての事業者規模で「設備・運営費の増加」が上位となっており、経営上の大きな課題と捉えていることがうかがえる。

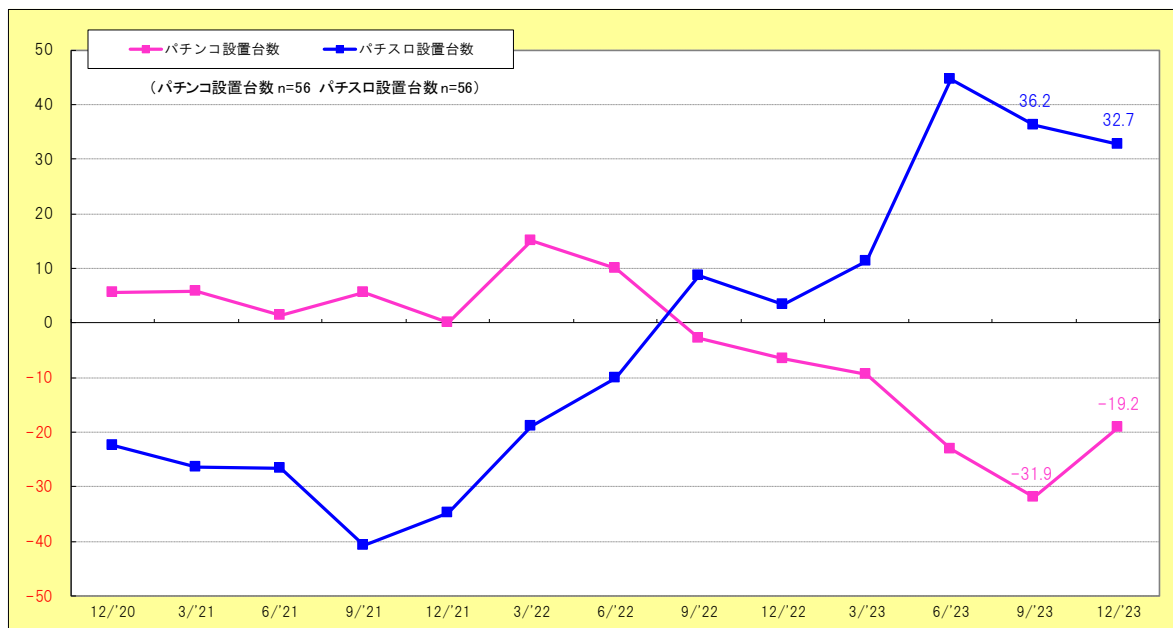
今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)①

■事業規模:遊技事業は落ち込むも、遊技以外の事業は回復



事業規模について増減差(「拡大」-「縮小」)で見ると、「遊技事業」は▲8.0ポイント(前回 12.3 悪化)とマイナスに転じた。「遊技以外の事業」は 14.9ポイント(前回比 12.6 良化)となり、回復が見られた。

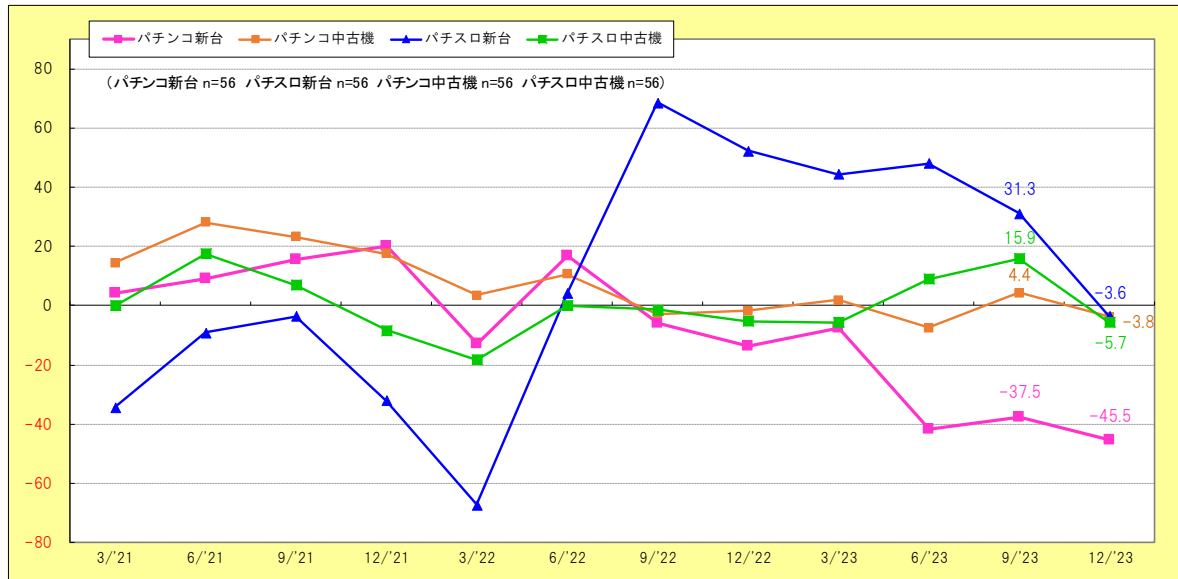
■設置台数:パチスロはやや落ち込むも好調、パチンコはマイナスながらも回復



設置台数について増減差(「増台」-「減台」)で見ると、「パチンコ設置台数」は▲19.2ポイント(前回比 12.7 良化)まで回復した。一方、「パチスロ設置台数」は 32.7ポイント(前回比 3.5 悪化)までやや落ち込むも依然として高い。

今後3カ月間の営業施策(事業者全体)②

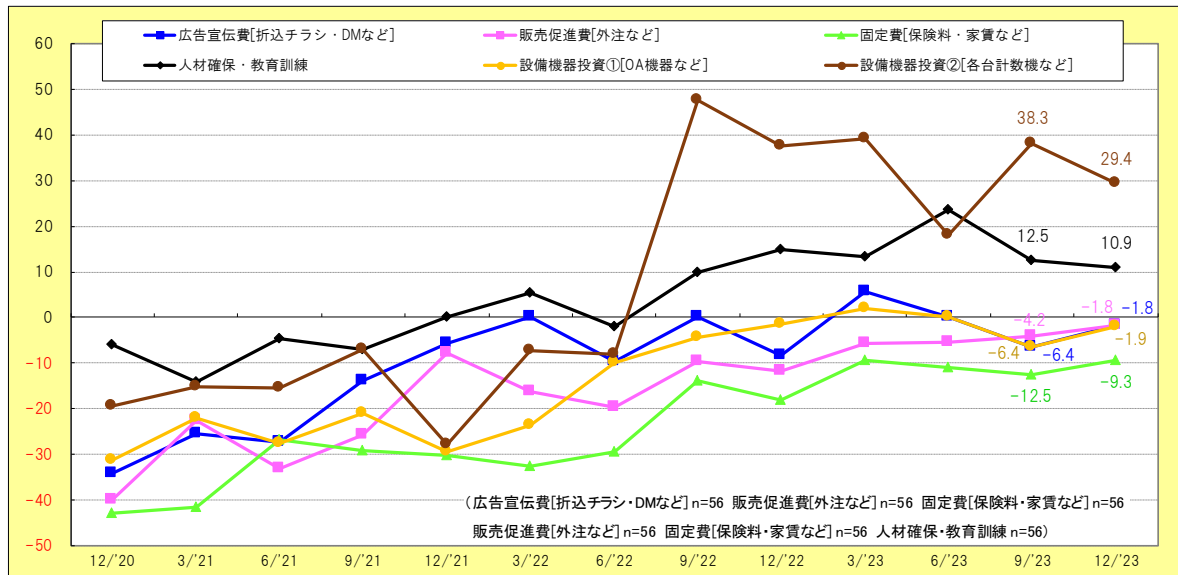
■遊技機購入費:パチスロ新台が大幅に悪化、パチンコ新台は依然として低迷



遊技機購入費について増減差(「増やす」-「減らす」)で見ると、「パチンコ新台」は▲45.5ポイント(前回比8.0悪化)、「パチスロ新台」は▲3.6ポイント(前回比34.9悪化)となった。

「パチンコ中古機」は▲3.8ポイント(前回比8.2悪化)、「パチスロ中古機」は▲5.7ポイント(前回比21.6悪化)となった。

■販売管理費:「設備機器投資②」が悪化したものの、優先順位に大きな差はない



販売管理費について増減差(「増やす」-「減らす」)でそれぞれの割合を見ていくと、「広告宣伝費」は▲1.8ポイント(前回比4.6良化)、「販売促進費」は▲1.8ポイント(前回比2.4良化)、「固定費」は▲9.3ポイント(前回比3.2良化)、「人材確保・教育訓練」は10.9ポイント(前回比1.6悪化)、「設備機器投資①」は▲1.9ポイント(前回比4.5良化)、「設備機器投資②」は29.4ポイント(前回比8.9悪化)となった。

「設備機器投資②」が悪化したものの、全体的な投資順位に大きな差はない。

コメント(自由回答)抜粋

■現状と今後について

- ◆スマパチやラッキートリガーの反応、改刷対応を注視している。(関東・中規模事業者)
- ◆昨年12月導入の「ぱちんこ シン・エヴァンゲリオン」と「スマスロバジリスク〜甲賀忍法帖〜絆2天膳」の稼働次第で、今後の状況が変わると思う。(中部・中規模事業者)
- ◆今後のスマパチの動向が気になる。(九州・中規模事業者)
- ◆スマスロが好調、スマパチ追随するのかといった感じだが、全体での厳しさは変わらない。遊技機にも設備にもお金がかかり過ぎるので、ホールの減少は止まらないと思う。(中部・小規模事業者)
- ◆スマートユニット、改刷対応などにコストがかかることが見込まれるため、その先を見据えると、個店での戦略ではなく企業戦略が特に重要となる。(北海道・大規模事業者)
- ◆スマスロの設備が少しずつ整ってきた。これからスマパチがどの程度受け入れられていくのか、それによって設備投資が変則的になるのは辛い。だが前を向いて頑張るだけである。(中部・小規模事業者)
- ◆従来の遊技方法から変化のあるスマパチに高年齢層が適応するのは、しばらく時間がかかるだろう。ただし、話題機が導入され遊技頻度が高まれば、徐々に浸透すると感じる。2024年も改刷対応などの設備投資が多く、ホールへ押し掛かる。メーカーと設備業者がホールに群がり利益を貪る構図にはうんざりする。組合のトップが政界へ進出し、業界を代弁する代議士として活躍することを期待する。(中部・中規模事業者)
- ◆改刷対応に必要な費用が大きすぎるので、メーカーに割引交渉をしているが、期待はできないようだ。公的な補助金や助成金がないと大変に厳しい。(東北・大規模事業者)
- ◆物価上昇・可処分所得の減少の影響なのか、顧客の単価は下がる傾向にある。いかにして客数を上げることができるかを考えている。(関東・小規模事業者)
- ◆大企業に便宜を図り、中小企業や小売業を軽視する不公平な政策が目立つ中で、可処分所得は減少しており、このことが業界に与える影響は大きいと考えている。また、店舗経営において諸経費が圧迫しており、電気料金は減るところか増えてしまい、利益が残らない状況になっている。(中国・小規模事業者)
- ◆遊技機・設備機器メーカーの決算数値が大幅に上昇してる中、ホール経営は厳しくなり、店舗数がどんどん減少していく現状に疑問を感じるが、いつまでも続かないだろう。今思うと業界全体をコントロールする組織や人材が必要だったと思う。旧基準機撤去と新規則機の導入、スマパチ・スマスロの導入、改刷対応はうまくコントロールできれば、こんな状態にならなかつたと感じる。(関東・小規模事業者)
- ◆アルバイトの離職率が急激に高くなった。自社のマニュアルや教育プランを見直したが、離職率を下げ止めることができていない。有給休暇の消化と時給水準の上昇により、派遣を雇うのと変わらないくらいまで人件費は上がっている。(関東・小規模事業者)
- ◆広告宣伝の解釈変更以降、広告の過激化が進んでいる。業界内での自浄作用が機能していない現状では、過去繰り返されてきたように、管理が警察へ戻り一層厳しくなるのも時間の問題と考える。そのため、団体を中心に自制することの重要性を感じる。遊技機販売においては、一部メーカーによる自社利益の確保が目に見える状況となっている。(四国・中規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	8.3	-10.5	15.8	11.8	0.0	15.8	31.6	11.1	27.8	19.2	-4.0	18.7
稼動状況(パチンコ)	-41.7	-42.1	-31.6	-47.1	-52.6	-31.6	-42.1	-61.1	-38.9	-41.1	-54.7	-34.7
稼動状況(パチスロ)	16.7	10.5	15.8	47.1	31.6	42.1	47.4	22.2	22.2	41.1	24.0	28.0
資本投資気運(遊技機)	-8.3	-11.1	-16.7	17.6	26.3	-42.1	26.3	16.7	5.6	14.6	8.9	-19.6
資本投資気運(その他設備)	-16.7	-11.1	-5.6	29.4	42.1	52.6	31.6	16.7	33.3	18.8	14.3	25.0
不足感(営業用設備)	-16.7	-15.8	-26.3	17.6	21.1	21.1	5.3	-5.6	5.6	-5.5	-9.3	-9.3
不足感(雇用人員)	-50.0	-47.4	-36.8	-47.1	-36.8	-47.4	-68.4	-61.1	-61.1	-45.2	-42.7	-42.7

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-8.3	-16.7	33.3	0.0	-11.1	5.6	21.4	-6.3	12.5
稼動状況(パチンコ)	-66.7	-50.0	-25.0	-42.9	-61.1	-44.4	-42.9	-68.8	-31.3
稼動状況(パチスロ)	33.3	-8.3	16.7	21.4	16.7	16.7	35.7	37.5	37.5
不足感(営業用設備)	8.3	16.7	16.7	-14.3	-33.3	-22.2	-14.3	-12.5	-18.8
不足感(雇用人員)	-50.0	-58.3	-50.0	-35.7	-50.0	-44.4	-64.3	-25.0	-37.5

項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	25.0	-28.6	14.3	40.0	18.2	27.3	19.2	-4.0	18.7
稼動状況(パチンコ)	-50.0	-71.4	-57.1	-24.0	-36.4	-27.3	-41.1	-54.7	-34.7
稼動状況(パチスロ)	37.5	42.9	57.1	60.0	31.8	27.3	41.1	24.0	28.0
不足感(営業用設備)	0.0	14.3	0.0	-4.0	-9.1	-9.1	-5.5	-9.3	-9.3
不足感(雇用人員)	-25.0	-14.3	-14.3	-44.0	-50.0	-50.0	-45.2	-42.7	-42.7

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-23.5	-25.0	-50.0	-9.5	-5.9	-15.8	-10.5	0.0	-5.6	-14.0	-8.3	-25.0
貸出態度	-17.6	-16.7	-11.1	-19.0	-5.9	-10.5	-21.1	0.0	0.0	-19.3	-6.3	-8.9
借入金利	0.0	8.3	0.0	4.8	-5.9	10.5	-5.3	-5.3	5.6	0.0	-2.1	5.4

* 全般的業況 n=75、稼動状況(パチンコ)n=75、稼動状況(パチスロ)n=75、資本投資気運(遊技機)n=56、資本投資気運(その他設備)n=56、

不足感(営業用設備)n=75、不足感(雇用人員)n=75、資金繰り n=56、貸出態度 n=56、借入金利 n=56

* 小規模事業者=3 店舗以下、中規模事業者=4~10 店舗、大規模事業者=11 店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査である。本調査は2020年9月より(株)シーズ/シーズリサーチが企画・実施しており、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所から引き継いだものである。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、MIRAIぱちんこ産業連盟、余暇環境整備推進協議会の3団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有カパチンコ店経営企業

◇実施時期：

2023年12月14日～12月29日

◇調査方法：

調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

<https://sees-research.com>

◇回答状況：

56企業、75地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査元 〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F
Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 URL:<https://sees-research.com>



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

調査協力 〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 URL:<https://www.eb-i.jp/>